

5月22日 50期 完

私たち50期はどの代よりも短い高校生活を過ごしました。部活動は思うように行うことが出来ず、時間短縮や中止、大会は無観客での開催などこれまでやってきたバスケットボールとは違く、高校バスケの想像からは遠く離れたものだったと私は感じました。

それでも応援してくださる保護者の方、関係者の方は当たり前のようにインスタライブ、応援メッセージなどくださり、苦しい環境下の中50期一同とても救われました。

直接試合を見て頂きたかったし、直接感謝を伝えたかったです。

私たち50期をこれまで応援して下さい本当にありがとうございました。

東大和男子バスケットボール部はどんどんと進化していきます。

これからも応援して頂けると幸いです。

「バスケットボールは楽しいですか」

私はバスケをやってる人によく聞きます。

好きな事は楽しくなければ嫌いになってしまう。しかし、バスケを追求してくとやはり辛く苦しい時間は絶対にあると思います。それでもその時間を楽しめば続けたいくなるし、チームメイトとも高めあっていけばより楽しくなるはずです。

自分が一生懸命やっていた辛く苦しい時間はいつか思い返した時にきっといい思い出になっています。

それは続け抜き、やりきった時の話です。

途中で断念したものはいつか絶対に後悔します。なので好きで始めたバスケットボールという素晴らしいスポーツを楽しく続けて欲しいと私は思っています。

では、どうやってその辛く苦しい時間を楽しく乗り越えられるか。

今までバスケをやってきた中で私はこれを大事にしてきました。

それは、「自分に自信を持つこと」です。

やはり人によって乗り越え方は違うと思いますが、何をやるにもまず自分ならできるといふ自信を持つことが大切で、それは上手くいく1つの方法だと私は思います。

上手くいくと楽しい、嬉しいこういった感情が湧き出てきます。

そうするともっともっとバスケを好きになり、続けたいと思うはずですよ。

もし、壁にぶち当たってもこの考えさえあれば大丈夫。ひとつひとつの事がとても楽しいと感じます。

とは言ってもやはり試合に出られなければスポーツどれもつまらないと思います。

そこで私が伝えたいのは

何か一つ武器を見つけることです。

全てのことを平均的に出来ればそれはもちろん素晴らしい選手だと思いますが、それでも何か一つ武器が優れていなければやはり勝てないし、試合に使われたいと思います。どんなことだっていいんです。声がチームで1番大きければ、それは試合に出た時チームを活気づけられます。スリーポイントだけ特化すればシューターとしてチームがもっと楽で強いチームになるはずですよ。

ドリブル、シュート、パス、バスケットをやっていけば平均的にできるのは当たり前で、その先がなければ強く上手い選手にはなれないと思います。

なので、試合に出たいのであれば何か一つ武器を作りチームでそこだけは誰にも負けないように努力することが大切です。

素晴らしい選手、素晴らしい先生、素晴らしい環境、そんな場所でバスケットボールが出来たこと幸せでした。

「大切なものは失ってから気づく」

今の環境や状況が嫌いでも、それを抜け出した先にはとても悔いの残るものがあるはずですよ。

ゆっくり地道に楽しく東大和高校バスケットボールで良い選手に育って欲しいと思います。

50 期代表 清田瑤代(きよたようだい)

